

## 安全データシート

## 二酸化鉛

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名	: 二酸化鉛
CB番号	: CB9196612
CAS	: 1309-60-0
EINECS番号	: 215-174-5
同義語	: 二酸化鉛

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 研究開発用途にのみ使用。医薬品、家庭用品、その他の用途には使用しないでください。
推奨されない用途	: なし

## 会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## 2.1 GHS分類

酸化性固体(区分3), H272
急性毒性, 吸入(区分4), H332
生殖毒性(区分1A), H360
特定標的臓器毒性(反復ばく露)(区分2), 血液, 中枢神経系, 免疫系, 腎臓, H373
水生環境有害性 短期(急性)(区分1), H400
水生環境有害性 長期(慢性)(区分1), H410
このセクションで言及されたH-ステートメントの全文は、セクション16を参照する。
急性毒性, 経口(区分4), H302

## 2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

## 絵表示

GHS03	GHS07	GHS08	GHS09

## 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

H272 火災助長のおそれ：酸化性物質。

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器(血液, 中枢神経系, 免疫系, 腎臓)の障害のおそれ。

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

H302 + H332 飲み込んだ場合や吸入した場合は有害。

#### 注意書き

#### 安全対策

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P260 粉じんを吸入しないこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

#### 応急措置

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察 / 手当てを受けること。

P391 漏出物を回収すること。

P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

#### 保管

P405 施錠して保管すること。

#### 廃棄

専門的な使用者に限定。

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

### 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
別名	: Lead (su)peroxide Lead dioxide Lead peroxide
化学特性(示性式、構造式 等)	: O2Pb
分子量	: 239.20 g/mol
CAS番号	: 1309-60-0
EC番号	: 215-174-5
化審法官報公示番号	: 1-527
安衛法官報公示番号	: -

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

#### 一般的アドバイス

この安全データシートを担当医に見せる。

#### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。ただちに医師の診察を受けること。呼吸停止時はただちに人工呼吸を実施し、必要に応じて酸素も吸入する。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。医師に相談する。

#### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。

#### 飲み込んだ場合

飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯) 医師に相談する。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

#### 使ってはならない消火剤

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

#### 適切な消火剤

現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

### 5.2 特有の危険有害性

#### 酸化鉛

不可燃性である。

周辺の火災で有害な蒸気を放出することがある。

酸素を放出して火災を広げる作用がある。

### 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

### 5.4 詳細情報

ガス/蒸気/ミストを水スプレージェットで抑える(除去する)。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: ほこりを吸い込まないこと。触れないようにすること。十分な換気を確認する。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 慎重に行うこと。適切に廃棄すること。関連エリアを清掃のこと。ほこりが生じないようにすること。

### 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション 13 を参照。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

#### 安全取扱注意事項

換気フードの下で作業すること。吸い込まないこと。

#### 火災及び爆発の予防

炎、熱および発火源から遠ざける。

#### 衛生対策

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。注意事項は項目 2.2 を参照。

### 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

#### 保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 5.1B: 酸化された危険物

#### 保管条件

密閉のこと。鍵をかけておくか、資格のあるまたは認可された人のみが入り出できる場所に入れておく。可燃性物質の近くに保管しない。

### 7.3 特定の最終用途

項目 1.2 に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

ACL: 0.05 mg/m<sup>3</sup> - 作業環境評価基準、健康障害防止指

TWA: 0.05 mg/m<sup>3</sup> - 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)

### 8.2 曝露防止

## 適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

## 保護具

### 眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。保護眼鏡

### 皮膚及び身体の保護具

本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ適用される。溶解、他の物質との混合、および EN374 に記載の逸脱条件での使用については、

CE 認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと (例: KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet:

[www.kcl.de](http://www.kcl.de))

フルコンタクト

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: KCL 741 Dermatril® L

本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ適用される。溶解、他の物質との混合、および EN374 に記載の逸脱条件での使用については、

CE 認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと (例: KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet:

[www.kcl.de](http://www.kcl.de))

飛沫への接触

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: KCL 741 Dermatril® L

### 身体の保護

保護衣

呼吸用保護具

ほこりが生じた際に必要。

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387 お

よび使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

物理状態	粉末
色	暗褐色
臭い	無臭
融点 / 凝固点	融点: 290 °C - (分解)

沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性 (固体、気体)	この製品はGHS分類の可燃性ではない。
引火上限/下限または爆発限界	データなし
引火点	非該当
自然発火温度	データなし
分解温度	> 290 °C -
pH	6 - 7 at 100 grm/l at 20 °C(スラリー)
粘度	動粘度 (動粘性率): データなし 粘度(粘性率): データなし
水溶性	0.01 grm/l at 25 °C - OECD 試験ガイドライン 105- 不溶
n-オクタノール / 水分分配係数 (log 値)	無機の物質には該当しない
蒸気圧	データなし
密度	9.4 gPcm3 at 20 °C
比重	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	この製品は、GHS区分3の酸化性に分類される。
データなし	

## 9.2 その他の安全情報

データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

データなし

### 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

次により発熱反応を生じる

アルミニウム

炭化物

グリセロール

還元剤

半金属

易酸化性物質

次との反応で爆発のおそれ

ボロン

アルカリ金属

過ギ酸

塩酸

過酸化水素

水素化物

次との反応で燃焼ガスや蒸気の発火または生成のおそれ

強酸

硫酸

二酸化硫黄

硫化水素

硫黄

アミン

可燃性物質

有機窒素化合物

硫化物

非金属

金属

#### 10.4 避けるべき条件

情報なし

#### 10.5 混触危険物質

データなし

#### 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

#### 急性毒性

急性毒性推定値: 経口 - 500.1 mg/kg

(専門家の判断)

経皮: データなし

(専門家の判断)

急性毒性推定値: 吸入 - 4 h - 1.6 mg/l - 粉じん/ミスト

経口: データなし

#### 皮膚腐食性 / 刺激性

データなし

#### 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

データなし

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

#### 生殖細胞変異原性

試験タイプ: Ames 試験

テストシステム: Salmonella typhimurium

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

結果: 陰性

備考: (米)国家毒性プログラム

**発がん性**

データなし

**生殖毒性**

胎児を損傷することがある。ヒトの疫学研究からの確実な証拠。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

備考: (EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。 - 血液, 中枢神経系, 免疫系, 腎臓

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データなし

**誤えん有害性**

データなし

## 11.2 追加情報

RTECS: OG0700000

鉛塩は胎盤を通過し、胚および胎児を死亡させることが報告されている。鉛塩はいくつかの動物種に対する催奇形性作用がある。有機金属の鉛化合物の暴露については、催奇形性作用は報告されていない。

こすことがある。過度の暴露による追加の症状: 接合部および筋の痛み、伸筋の衰え（しばしば手および手首におこる）、頭痛、めまい、異常な痛み、下痢、便秘、悪心、嘔吐、歯ぐきに青い線が出る、不眠および金属味。体内濃度が高い場合、脳脊髄圧の上昇、脳障害、昏睡の原因となる知覚麻痺および、死に至ることがある。、食欲不振、嘔吐、痙攣

鉛化合物全般に該当: 消化管からの吸収率が低いため、大量に摂取しない限り急性の中毒症には至らない。数時間の潜伏した後、金属味、悪心、嘔吐、痙攣を生じ、そのあとショックに至ることが多い。長期間摂取すると、末梢筋肉の筋力低下（「下垂手」）、貧血、中枢神経の障害を生じる。出産可能年齢の女性は、長期間曝露してはならない(臨界域値を順守すること)。

蓄積作用の危険がある。

本品は特に慎重に取り扱うこと。

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

の合成は抑制され、貧血をおこす。未処置で放置した場合、神経筋機能障害、麻痺および脳障害をおさされている。過度の暴露によって血液、神経および消化器系に影響を与えることがある。ヘモグロビンヒトの生殖機能、胚発育、胎児発育、および出生後の発育（例えば、精神）において鉛の副作用が報告

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

データなし

### 12.2 残留性・分解性

**生分解性**

結果: - 易分解性ではない。

備考: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。



### 12.3 生体蓄積性

データなし

### 12.4 土壤中の移動性

データなし

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

### 12.6 内分泌かく乱性

データなし

### 12.7 他の有害影響

環境への放出は必ず避けなければならない。

---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

製品

内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 国連番号

ADR/RID（陸上規制）：1872 IMDG（海上規制）：1872 IATA-DGR（航空規制）：1872

### 14.2 国連輸送名

ADR/RID（陸上規制）：LEAD DIOXIDE

IMDG（海上規制）：LEAD DIOXIDE

IATA-DGR（航空規制）：Lead dioxide

### 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID（陸上規制）：5.1 IMDG（海上規制）：5.1 IATA-DGR（航空規制）：5.1

(6.1)

### 14.4 容器等級

ADR/RID（陸上規制）：III IMDG（海上規制）：III IATA-DGR（航空規制）：III

### 14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR（航空規制）：非該当

該当

### 14.6 特別の安全対策

なし

## 14.7 混触危険物質

---

# 15. 適用法令

## 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

### 国内適用法令

消防活動阻害物質 貯蔵等の届出を要する物質:

酸化鉛(IV)

消防法:

第1類:酸性固体, クロム、鉛又はよう素の酸化物, 危険等級I, 第一種酸性固体

毒物及び劇物取締法:

劇物 - 酸化鉛(IV)

### 労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則:

非該当

有機溶剤中毒予防規則:

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

法第57条 (施行令第18条) - 酸化鉛(IV)

名称等を通知すべき危険物及び有害物:

法第57条の2 (施行令別表第9) - 酸化鉛(IV)

化学物質排出把握管理促進法:

特定第1種指定化学物質 - 鉛

---

# 16. その他の情報

## 略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

## 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

- 【2】 化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】 NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】 カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】 ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】 ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】 eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト [http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request\\_locale=en](http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en)
- 【9】 ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】 有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】 HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

**免責事項:**

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本MSDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。